

②表現力とは

キーワードは自己である。生徒が内なるものを自分の言葉で語る・描く・演じる・訴える・感動する。生徒はいわゆる表現方法は身に付けられる。大切なのは「自己の内なる表現なのか」「練習の発展としての表現なのか」。生徒が授業において表現した内容が、貧弱な自己表現であったり、高度な疑似表現であったのでは「本校でめざす表現力」ではない。基礎学力の定着の上に立った表現力の育成と共に、自己実現や、自己存在感にスポットを当てた「めざす表現力」の育成に努めることが重要である。このような視点で各教科ごとに「めざす表現力」を明確にし、授業の質的改善に取り組んだ。

6 教科における研究計画

